



- ・ 電源コードを忘れずにご準備いただき、遅滞ない進行にご協力ください。
- ・ 動画の動作は事前にご自身で確認してください。
- ・ 事務局でも PC (Windows 7 のみ) を準備しますが、Power Point 2010 での再生になります。音声や動画および特殊フォントについては十分に対応ができない可能性がありますので、できる限りご自身の PC をご持参ください。  
やむをえず USB ファイルをご持参される場合は各自ウイルスチェックをお願いします。お預かりした発表データは研究会終了後事務局 PC から消去します。

#### 4. ポスター発表について

発表会場は「新館講堂」向かいの『特別会議室』です。

ポスターの貼り付け枠は 横 92cmx 縦 145cm です。

指定の演題番号のボードに貼付してください。

演題番号の表示と貼り付け用のピン、テープは事務局で用意いたします。

貼付時間 9:00 -10:00

掲示時間 10:00 -16:00

撤去時間 16:00 -16:30

撤去時間を過ぎたポスターは事務局で破棄しますが極力ご自身で回収してください。

#### 5. 討論と質問について

座長の指示に従い、フロアマイクをお使いいただき、お名前とご所属の後、ご質問をお始めください。

#### 6. 血管病の病理標本を展示します。

9:30-15:00 ポスター会場にて随時ご見学ください。

お手に取って触りたい場合はスタッフに申し出てください。

#### 7. 世話人会について

開催時間：11時50分 - 12時50分

開催場所：研究所本館『大会議室』

昼食をご用意いたします。

## プログラム

10月17日(土) 9:30-16:50

国立循環器病研究センター研究所新館講堂

開会の辞 9:30- 9:35

植田初江(第20回日本血管病理研究会 当番世話人)

一般演題Ⅰ : 冠動脈 9:35- 10:11

座長: 羽尾裕之(兵庫医科大学 病院病理部)

O-1 冠動脈石灰化結節の病理組織学的特徴

川上りか、羽尾裕之、高木弥栄美、藤野明子、廣田誠一  
兵庫医科大学・病院病理部

O-2 血管平滑筋細胞は川崎病冠動脈炎後の遷延する血管壁リモデリングの主役となるか-家兎アレルギー性血管炎モデルを用いた研究-

藤井麻衣子<sup>1)2)</sup>、中村明宏<sup>2)</sup>、濱岡建城<sup>2)</sup>、高松哲郎<sup>1)3)</sup>、田中秀央<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学大学院医学研究科・細胞分子機能病理学

2) 同・小児循環器腎臓病学 3) 同・医学フォトニクス講座

O-3 偶発的に発見された冠動脈右室瘻に右冠動脈瘤を合併した一例

黒澤毅文<sup>1)2)</sup>、植田初江<sup>2)</sup>、松本 学<sup>3)</sup>、大郷恵子<sup>2)</sup>、松山高明<sup>2)</sup>、池田善彦<sup>2)</sup>、野口暉夫<sup>4)</sup>、東 将浩<sup>6)</sup>、藤田知之<sup>5)</sup>、小林順二郎<sup>5)</sup>、平山篤志<sup>1)</sup>

1) 日本大学医学部・内科学系循環器内科分野

2) 国立循環器病研究センター・臨床検査部臨床病理科

3) 同・バイオバンク 4) 同・心臓血管内科 5) 同・心臓血管外科

6) 同・放射線部

休 憩

10:11-10:15

一般演題Ⅱ : 肺血管

10:15-11:42

座長: 倉田美恵 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門)

大郷恵子 (国立循環器病研究センター臨床検査部臨床病理科)

Keynote lecture

肺高血圧症の病理組織像

大郷恵子<sup>1)</sup>、池田善彦<sup>1)</sup>、松山高明<sup>1)</sup>、松本 学<sup>2)</sup>、中嶋絢子<sup>1)</sup>、植田初江<sup>1)</sup>

1) 国立循環器病研究センター・臨床検査部臨床病理科 2) 同・バイオバンク

O-4 胸腔鏡下肺生検 (VATS) にて診断した MPO-ANCA 陽性の多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) の一例

榎本泰典<sup>1)</sup>、横内 幸<sup>1)</sup>、大原関利章<sup>1)</sup>、藤澤有希<sup>2)</sup>、亀田秀人<sup>2)</sup>、桐林孝治<sup>3)</sup>、高橋 啓<sup>1)</sup>

1) 東邦大学医療センター大橋病院・病理診断科 2) 同・膠原病リウマチ科  
3) 同・外科

O-5 肺高血圧合併慢性線維化型間質性肺炎に alveolar capillary multiplication を認めた 4 剖検例

太田宏樹<sup>1)</sup>、杉野圭史<sup>1)</sup>、後町杏子<sup>1)</sup>、鏑木教平<sup>1)</sup>、磯部和順<sup>1)</sup>、坂本 晋<sup>1)</sup>、冠木敬之<sup>2)</sup>、矢内 俊<sup>3)</sup>、石渡誉郎<sup>4)</sup>、若山 恵<sup>4)</sup>、本間 栄<sup>1)</sup>

1) 東邦大学医学部・内科学講座呼吸器内科学分野 (大森)  
2) 同・内科学講座循環器内科学分野 (大森) 3) 同・小児科学講座 (大森)  
4) 東邦大学医療センター大森病院・病理診断科

O-6 心室中隔欠損症閉鎖術後遠隔期肺高血圧の一剖検例

倉田美恵<sup>1)2)</sup>、永井啓行<sup>3)</sup>、上谷晃由<sup>3)</sup>、川上大志<sup>3)</sup>、馬越健介<sup>4)</sup>、松本紘典<sup>4)</sup>、友澤明子<sup>3)</sup>、大木元明義<sup>3)</sup>、檜垣實男<sup>3)</sup>、増本純也<sup>1)2)</sup>

1) 愛媛大学プロテオサイエンスセンター病理学部門  
2) 愛媛大学大学院医学系研究科・解析病理学講座  
3) 同・循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 4) 同・救急医学

O-7 多発性骨髄腫を背景として全身性 AL アミロイドーシスを来たし、肺動脈性肺高血圧症を呈した一剖検例

橋本浩次<sup>1)3)</sup>、倉田 厚<sup>3)</sup>、水野秀明<sup>2)</sup>、名城珠希<sup>1)</sup>、半下石 明<sup>2)</sup>、白杵憲祐<sup>2)</sup>、黒田雅彦<sup>3)</sup>、堀内 啓<sup>1)</sup>

1) NTT 東日本関東病院・病理診断科 2) 同・血液内科  
3) 東京医科大学・分子病理学分野

O-8 Wegener 肉芽腫症と Necrotizing sarcoid granulomatosis との鑑別に苦慮した一例

岩崎沙理<sup>1)</sup>、岡本賢三<sup>3)</sup>、小島哲弥<sup>2)</sup>、藤田裕美<sup>1)</sup>、清水亜衣<sup>1)</sup>、鈴木 昭<sup>1)</sup>、石津明洋<sup>4)</sup>

- 1) KKR 札幌医療センター・病理診断科
- 2) 同・内科
- 3) 北海道中央労災病院・病理診断科
- 4) 北海道大学大学院保健科学研究院・病態解析学分野

O-9 ネクサバル使用肺高血圧症患者における肺血管病理の解析

伊波 巧<sup>1)</sup>、千葉知宏<sup>2)</sup>、菅間 博<sup>2)</sup>、片岡雅晴<sup>3)</sup>、佐藤 徹<sup>1)</sup>

- 1) 杏林大学医学部・循環器内科
- 2) 同・病理学教室
- 3) 慶應義塾大学医学部・循環器内科

ランチョンセミナー準備のため、ご退室ください。

世話人の先生は研究所本館大会議室にご移動ください。(世話人会 11:50-12:50)

ランチョンセミナー

11:50-12:50

座長：今中恭子（三重大学大学院医学系研究科 修復再生病理）

慢性血栓塞栓性肺高血圧症の新しい治療

大郷 剛

国立循環器病研究センター・心臓内科部門肺循環科

(共催：日本化薬株式会社)

世話人会からのお知らせ

12:50-12:55

シンポジウム：血管病研究の最新知見

12:55-14:10

座長：高橋 啓（東邦大学医療センター大橋病院 病院病理部）

池田栄二（山口大学大学院医学系研究科 病理形態学）

S-1 抗モエシン抗体は、皮膚動脈炎が結節性多発動脈炎へ移行する時、上昇する岡野達郎<sup>1)</sup>、竹内そら<sup>1)</sup>、相馬良直<sup>1)</sup>、鈴木和男<sup>2)</sup>、鈴木浩也<sup>3)</sup>、月田佐智子<sup>3)</sup>、石津明洋<sup>4)</sup>、川上民裕<sup>1)</sup>

- 1) 聖マリアンナ医科大学・皮膚科
- 2) 帝京大学アジア国際感染症制御研究所
- 3) 大阪大学大学院・生命機能研究科個体機能学講座／医学系研究科病理学
- 4) 北海道大学大学院保健科学研究院・病態解析学分野

S-2 側頭動脈炎 4 例の形態学的比較 ～vasa vasolitis と CD163 に着目して～  
小林一博<sup>1)2)</sup>、齊郷智恵美<sup>1)3)</sup>、久松憲治<sup>1)2)</sup>、鬼頭勇輔<sup>1)3)</sup>、酒々井夏子<sup>1)</sup>、  
宮崎龍彦<sup>1)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院・病理部

2) 岐阜大学大学院医学系研究科・腫瘍病理学分野

3) 同・形態機能病理学分野

S-3 MPO-ANCA 関連腎炎および抗糸球体基底膜型糸球体腎炎における PAD4 発現  
山田宗治<sup>1)</sup>、尾田高志<sup>1)</sup>、藤井理恵<sup>1)</sup>、小松秀平<sup>1)</sup>、大島泰斗<sup>1)</sup>、廣瀬 剛<sup>1)</sup>、  
小島 糾<sup>1)</sup>、富安朋宏<sup>1)</sup>、須藤泰代<sup>1)</sup>、吉川憲子<sup>1)</sup>、堺 則康<sup>1)</sup>、山田道之<sup>2)</sup>、  
吉田雅治<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学八王子医療センター・腎臓内科

2) 横浜市立大学・生命医科学研究科構造生物学

S-4 高安大動脈炎の進展に伴う病理像の推移

倉田 厚<sup>1)</sup>、橋本浩次<sup>3)</sup>、藤田浩司<sup>1)</sup>、長尾俊孝<sup>2)</sup>、黒田雅彦<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学・分子病理学分野 2) 同・人体病理学分野

3) NTT 東日本関東病院・病理診断科

S-5 頸動脈プラークのプロテオーム解析

池川雅哉<sup>1)</sup>、飯原弘二<sup>2)</sup>、飯田哲生<sup>2)</sup>、嶋田崇史<sup>3)</sup>、藤分秀司<sup>3)</sup>、寺田 恵<sup>1)</sup>、  
山中寛明<sup>1)</sup>、浅海泰栄<sup>4)</sup>、大塚文之<sup>5)</sup>、野口暉夫<sup>4)</sup>、植田初江<sup>6)</sup>

1) 同志社大学生命医科学部・医生命システム学科

2) 九州大学大学院医学研究院・脳神経外科 3) 島津製作所

4) 国立循環器病研究センター・心臓内科 5) 同・バイオバンク

6) 同・病理部

休 憩

14 : 10–14 : 15

コーヒーとお菓子を受け取り、ご着席ください。

特別講演

14 : 15–15 : 15

座長：植田初江（国立循環器病研究センター 病理部）

## Cardiovascular and Pulmonary Pathology

Dr. Patrick BRUNEVAL

Department of Anatomic Pathology, European Pompidou Hospital

ポスター会場『特別会議室』にご移動ください。

ポスター演題

15:15-15:43

座長：浅田祐士郎（宮崎大学医学部 病理学）

**P-1 Clusters of Proliferating Endothelial Cells and Smooth Muscle Cells In Rabbit Carotid Arteries**

高橋正人<sup>1)</sup>、増田弘毅<sup>2)</sup>、吉田 誠<sup>3)</sup>、伊藤行信<sup>3)</sup>、南條 博<sup>4)</sup>、杉山達朗<sup>5)</sup>、前田大地<sup>3)</sup>、後藤明輝<sup>3)</sup>

- 1) 秋田厚生医療センター・病理診断科
- 2) 雄勝中央病院・検査科病理
- 3) 秋田大学大学院医学系研究科・器官病態学講座
- 4) 秋田大学医学部附属病院・病理部
- 5) AKH 研究センター

**P-2 マクロファージの極性による組織因子とヘキソキナーゼII発現と解糖系の関与**

山下 篤<sup>1)</sup>、盛口清香<sup>2)</sup>、佐藤勇一郎<sup>2)</sup>、浅田祐士郎<sup>1)</sup>

- 1) 宮崎大学医学部病理学講座・構造機能病態学分野
- 2) 宮崎大学医学部附属病院・病理診断科

**P-3 リウマチ性多発筋痛症に合併し巨細胞性動脈炎が疑われた一剖検例**

田澤咲子<sup>1)</sup>、野呂瀬朋子<sup>1)</sup>、矢持淑子<sup>1)</sup>、塩沢英輔<sup>1)</sup>、伊藤嘉憲<sup>2)</sup>、吉田亮一<sup>2)</sup>、瀧本雅文<sup>1)</sup>

- 1) 昭和大学医学部・臨床病理診断学講座
- 2) 浴風会病院・内科

**P-4 冠動脈の異常血管吻合や腹腔内中小動脈の中膜変性ととも、全身の筋性動脈の解離による出血をきたした一剖検例**

松山高明<sup>1)</sup>、中山貴文<sup>2)</sup>、本間一成<sup>3)</sup>、中嶋絢子<sup>1)</sup>、松本 学<sup>4)</sup>、大塚文之<sup>4)</sup>、大郷恵子<sup>1)</sup>、池田善彦<sup>1)</sup>、豊田一則<sup>3)</sup>、植田初江<sup>1)</sup>

- 1) 国立循環器病研究センター・臨床検査部臨床病理科
- 2) 同・心臓血管内科
- 3) 同・脳血管内科
- 4) 同・バイオバンク

一般演題Ⅲ : 大動脈

15:45-16:45

座長: 石津明洋 (北海道大学大学院保健科学研究所 病態解析学)

池田善彦 (国立循環器病研究センター臨床検査部臨床病理科)

O-10 大動脈瘤を呈した MAGIC 症候群の一剖検例

伊藤行信<sup>1)</sup>、吉田 誠<sup>1)</sup>、前田大地<sup>1)</sup>、高橋正人<sup>2)</sup>、増田弘毅<sup>3)</sup>、後藤明輝<sup>1)</sup>

1) 秋田大学大学院医学系研究科・器官病態学講座

2) 秋田厚生医療センター・病理診断科 3) 雄勝中央病院・検査科

O-11 標本レビュー: Cogan 症候群の大動脈病変

石津明洋

北海道大学大学院保健科学研究所・病態解析学分野

O-12 巨細胞性動脈炎を伴った急性大動脈解離の一例

帯包妃代<sup>1)</sup>、藤吉俊毅<sup>2)</sup>、高橋 聡<sup>2)</sup>、荻野 均<sup>2)</sup>、松林 純<sup>1)</sup>、長尾俊孝<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学・人体病理学分野 2) 東京医科大学病院・心臓血管外科

O-13 全身動脈に限局性内膜肥厚による狭窄を生じ、心筋梗塞で死亡した一小児剖検例

高橋 啓<sup>1)</sup>、大原関利章<sup>1)</sup>、横内 幸<sup>1)</sup>、榎本泰典<sup>1)</sup>、渋谷宏行<sup>2)</sup>、佐藤誠一<sup>3)</sup>

1) 東邦大学医療センター大橋病院・病理診断科

2) 新潟市民病院・病理診断科 3) 同・小児科

O-14 ANCA 関連血管炎の寛解維持期に、血管炎再燃によると考えられる多発性脳梗塞を発症した剖検一症例

遠藤知美<sup>1)</sup>、垣田浩子<sup>1)</sup>、有安由紀<sup>1)</sup>、松崎直美<sup>2)</sup>、矢野景子<sup>1)</sup>、石村卓也<sup>1)</sup>、

半田貴也<sup>1)</sup>、新川神奈<sup>1)</sup>、鈴木洋行<sup>1)</sup>、米本智美<sup>1)</sup>、弓場吉哲<sup>2)</sup>、武曾恵理<sup>1)</sup>

1) 田附興風会医学研究所北野病院・腎臓内科 2) 同・病理診断科

閉会の辞

16:45-16:50

植田初江 (国立循環器病研究センター 病理部)